

順天堂医院ニュース 2015 NO.52



ホームページをリニューアルしました!!



ホームページをリニューアルいたしました。

皆さまに快適にホームページをご利用いただけるよう、情報を整理し、見やすいデザインにいたしました。

今後もよりいっそう充実した情報発信を目指してまいります。

順天堂大学医学部附属順天堂医院
ホームページ

<http://www.juntendo.ac.jp/hospital/>

順天堂医院

検索



食道がんのリンパ節転移

食道・胃外科 橋本 貴史

食道がんは、胃がんや大腸がんなど他の消化管のがんに比べ、悪性度が高いがんとして扱われています。その理由の一つはリンパ節転移の形式の違いです。胃がんや大腸がんでは、ある程度、がんが深く浸潤した場合に生じるのに対し、食道がんは比較的浅い浸潤でもリンパ節転移を生じます。胃がんでは早期がんと言われる深さでも、食道がんでは進行がんとして扱う必要がでてきます。



教授
梶山 美明



助教
橋本 貴史

また食道がんのリンパ節転移好発部位は頸部・胸部・腹部と広範にわたり、がんの病巣から離れたリンパ節に転移を生じる(跳躍転移)ことも、胃がんや大腸がんとは異なる特徴です。

このため食道がんで外科的切除を要する場合、頸部・胸部・腹部の3領域リンパ節郭清を伴う食道切除が標準術式となります。

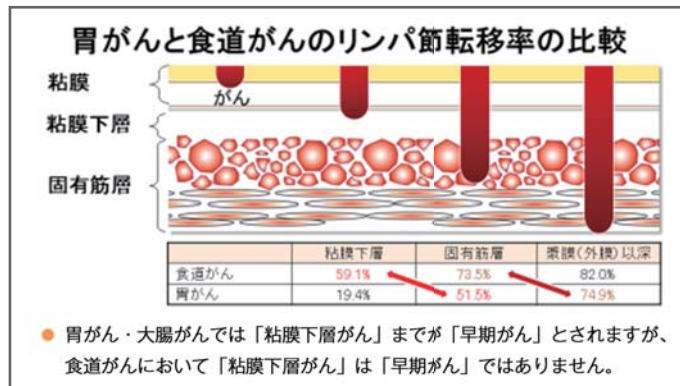


図1

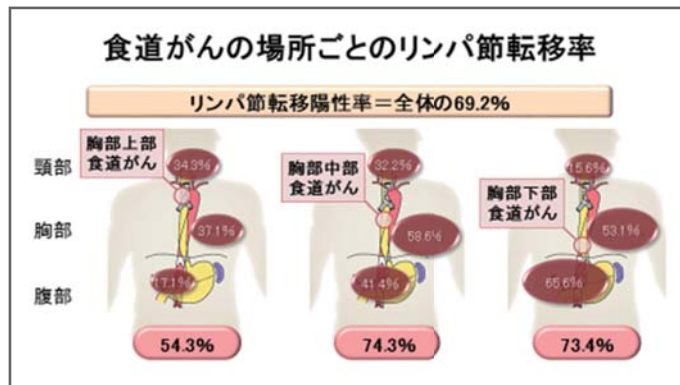
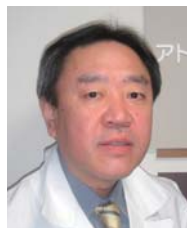


図2

紫外線治療について

皮膚科 飯田 秀雄



教授
池田 志孝



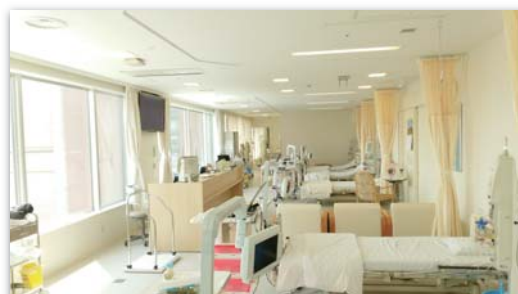
助教
飯田 秀雄

夏になると太陽からの紫外線が気になる、という方も多いと思います。その紫外線を皮膚病の治療に用いるのが紫外線治療です。治療に有効とされている波長に絞って、患部または全身に紫外線を照射しますので、比較的 안전한治療です。当科では、アトピー性皮膚炎、尋常性乾癬、尋常性白斑、円形脱毛症などの疾患を対象に治療を行っております。

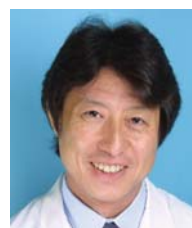
また、今年の春には最新の紫外線治療装置を導入し、以前より短時間での治療が可能になりました。詳細につきましては、お気軽に皮膚科までご相談ください。

膠原病・リウマチ性疾患および その合併症に対するアフェレシス療法

膠原病・リウマチ内科 山路 健



教授
高崎 芳成



先任准教授
山路 健

アフェレシス療法とは、体内の血液から病気の原因となる物質を取り除くという血液浄化治療の一つです。膠原病およびその合併症のために治療中である患者さんの中には、ご自分の免疫細胞により生じた自己抗体やサイトカインと呼ばれる物質、活性化された血球などが血液中に多く存在し、それらが病態悪化の一因となっている方がいらっしゃいます。お薬などの治療に加え、そのような病因物質を直接血液中から除去することができるアフェレシス療法を施行することで、より速やかに病態を改善できる可能性があります。

膠原病・リウマチ内科においては膠原病をはじめとした難治性病態や急性期病態の患者さんの治療としてアフェレシス療法を行っております。お薬による治療戦略を「足し算」の治療とすれば、アフェレシス療法はまさに「引き算」の治療であり、全く異なる機序から有効性をもたらします。アフェレシス療法についてのご質問につきましては、膠原病・リウマチ内科外来担当医までご相談ください。

食物アレルギーについて

小児科・思春期科 森 真理

食物アレルギーとは、「食物によって引き起こされる抗原特異的な免疫学的機序を介して生体にとって不利益な症状が惹起^{じやくき}される現象」をいいます。わが国の食物アレルギーの有病率は乳児で約5～10%、幼児で約5%、学童期以降が1.5～3%と言われており、近年増加傾向です。



教授
清水 俊明



助教
森 真理

小児の特徴として、年齢により原因食物が異なること、乳幼児期の食物アレルギーは年齢とともに食べられるようになることが多いことが知られており、当院では、問診、血液検査、負荷試験などを行い、総合的な診療に努めています。

食物アレルギーの治療は、原因食物を除去する食事療法と、出現した症状に対する対症療法があります。食事療法としては、(1)正しい原因食物の診断に基づいた必要最小限の除去食、(2)安全性の確保、(3)栄養面への配慮、を目標としております。また、症状が落ち着いたら、食べて治す経口減感作療法を行います。私たちは、お子様方の食べられる食品が一つでも多くなるよう、日々、診療を行っております。

看護部ニュース

認知症看護認定看護師の活動紹介

日本の認知症患者数は現在、約460万人と推定されており、まもなく500万人を超えると言われております。今後、社会の高齢化が進むにつれ、さらに認知症患者数は急増する見込みです。

現在私は、日本看護協会が認定する認知症看護認定看護師の資格を取得し、認知症疾患医療センター(以下「センター」という。)にて活動しています。

センターでは、認知症患者ご本人、ご家族、関係機関から病気について、介護方法や今後の生活についてなど様々な相談に対応し、状況に応じて適切な医療機関の紹介を行っています。また、認知症の研修会を開催し認知症専門医療を支える人材の育成にも取り組んでいます。「もしかしたら自分が認知症ではないか」と心配されている方やご家族の方がおられましたら、悩みを抱え込まず当院メンタルクリニックまたは、脳神経内科外来にご相談ください。



認知症看護認定看護師 高岡 吉栄

放射線部ニュース

【X線の発見】

本号より、放射線部ニュースの連載がスタートします。第1回として1895年に、ドイツのレントゲン博士（1901年ノーベル物理学賞受賞）がX線を発見した歴史をお話します。

ある日レントゲン博士は、ガラス管の中の気圧を低くしてその中に高い電圧の電流を流す実験をしていました。その時、黒い紙でしっかりと被っているガラスの近くにあった蛍光版（自ら青白い光を放つ物質が塗ってある板）が発光していることに気が付きました。その後の研究で、そこに手を重ねてみると骨の形や仕組みが大変良く見え、博士はビックリ！そこで、この不思議な光線をX線と名付けました。みなさんが病院などでよく耳にする「レントゲン」という言葉は、放射線を世界で一番最初に見つけた人の名前です。

X線装置開発の歴史の中で順天堂医院では、順天堂医院 X線光線科の藤浪剛一科長の指導のもと、1915年（大正4年）に純国産のX線管球「ギバX線（レントゲン）管球」が開発され、日本の医療業界に大きな一歩を築きました。

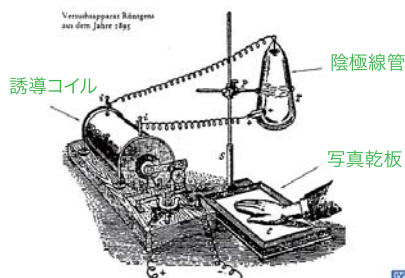


図1 レントゲンの装置の概念図

【出典】Robert Nitske, 山崎政男（訳）：
X線の発見者レントゲンの生涯、考古堂（1989年）



図2 レントゲンがX線で撮影した写真
（1895年12月22日撮影、
ミュンヘン、ドイツ博物館）

【出典】エミリオ・セグレ、久保英五、矢崎啓二（訳）：
X線からウォークまで、みずす書房（1982年）



図3. ヴィルヘルム・コンラート・レントゲン

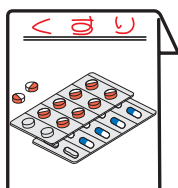
Wilhelm Conrad Röntgen

1845年3月27日 - 1923年2月10日
ドイツの物理学者

薬剤部ニュース

～妊娠と薬について～

妊娠中に病院から薬を処方されたことや、妊娠しているとは知らずに薬を飲んでしまったことはありませんか？確かに妊娠中の薬の服用に関しては慎重にしたいものですが、安全に服用可能な薬も多くあります。正しい知識をもって、必要な薬はきちんと服用することが大切です。



特に何かの病気があってその治療のために薬を常用している人は、自己判断で薬を中断してしまうとかえって赤ちゃんにも危険を及ぼすことがあります。もともとの病気をコントロールすることが妊娠の維持には重要です。医師は薬を処方する際、薬によるメリットとデメリットを常に考えて必要性を判断しています。これから妊娠を考えている方は是非、主治医と相談してみてください。また、薬に関する情報は薬剤部でも随時収集していますので、気になることがありましたら、いつでもご相談ください。

臨床検査部ニュース

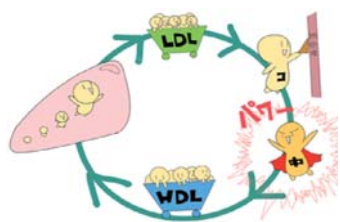
脂質検査について

血液には、LDL コレステロール、HDL コレステロール、中性脂肪などの脂質成分があります。コレステロールは、体を構成する細胞膜のもとになり、中性脂肪は、体を動かすエネルギーのもとになります。

LDL コレステロールは、肝臓でつくられたコレステロールをいろいろな臓器へ運びます。LDL コレステロールが過剰になると、血管の中にコレステロールがたまり、動脈硬化の原因になるため、悪玉コレステロールと呼ばれています。

一方、HDL コレステロールは、体内や血管の余分なコレステロールを肝臓まで運ぶため、動脈硬化を予防する働きがあり、善玉コレステロールと呼ばれています。

これらの検査は、動脈硬化や生活習慣病を診断するためにとっても大切です。



項目名	略称名	基準範囲
総コレステロール	T-Cho	150 ~ 219mg/dL
中性脂肪	TG	30 ~ 149mg/dL
HDL-コレステロール	HDL-C	男 40 ~ 70mg/dL 女 45 ~ 75mg/dL
LDL-コレステロール	LDL-C	70 ~ 139mg/dL

臨床検査部ホームページ

http://www.juntendo.ac.jp/hospital/support/rinsyo_kensabu/index.html







栄養部ニュース

『薬味』のちから

薬味には、様々な効能が隠されています。その効果を料理の中にも取り入れることは、健康的な生活を送るのにとても効果的です。日常の食生活に薬味を取り入れるように心がけたいものです。

ねぎや生姜、大根などは気軽に手に入れられる食材ですし、常備して料理の薬味として使うことから始めてみましょう。ただし、過剰摂取は逆に体に良くない場合もあるので適量にしましょう。

代表的な薬味と主な効能

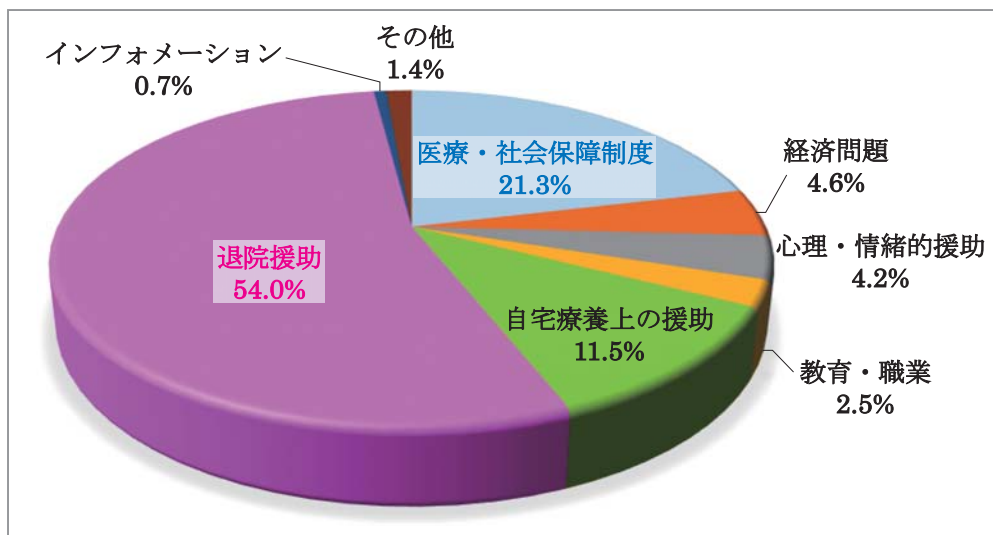
-  ねぎ・・・免疫力向上、疲労回復、殺菌作用
-  大根・・・消化促進、消炎作用、整腸作用
-  わさび・・・殺菌作用、利尿作用、精神安定
-  生姜・・・消炎作用、食欲増進、消化促進
-  みょうが・・・食欲増進、解毒効果、冷え性改善
-  柚子・・・免疫力向上、疲労回復、美肌効果

栄養部 渡邊 威仁(管理栄養士)

医療福祉相談室ニュース

☆平成 26 年度に当室で受けた相談内容の割合は、次のとおりです。

《 平成 26 年度 相談内容別件数 1030 件の内訳 》



昨年度、当室で新しく受けた相談件数は 1030 件でした。

一番多い相談内容は、**退院に関する援助**で過半数を占めました。当院での入院治療を終えられる患者さんの、リハビリテーション専門病院や療養型病院などへの転院を検討するためのご相談をお受けしました。

次いで多かったのは、**医療・社会保障制度**で、例えば「高額療養費」「後期高齢者医療」「難病医療」などの公的な医療費助成制度や、「介護保険」「障害者手帳」「障害者年金」などの社会福祉制度の利用についてのご相談です。

当院にはいくつかの相談部門がありますが、「医療福祉相談室」では、このように療養生活に伴って生じる様々な心配事について、**ソーシャルワーカー**が、患者さんやご家族と一緒に考えながら解決へのお手伝いをしています。

ご相談を希望される場合は、**事前にご予約**をお願いいたします。

医療福祉相談室 直通 TEL : 03-5802-1207 (直通)

順天堂医院の今昔

順天堂の創立記念日

「5月15日」は順天堂の創立記念日である。その日は病院を含めて全学が休日となる。

順天堂の創立年は天保9（1838）年であるが、その年の5月15日が記念日ではない。昭和21年（1946）5月15日が順天堂医科大学の認可された日である。それまで順天堂医学専門学校であった。なぜ、昭和21年か、それは戦後、GHQ（占領軍）による大々的な教育改革が行われた年であったからである。小学6年・中学5年（4年）制も6・3・3制度に替わって、小学校6年、新制中学3年までが義務教育となり、新制高等学校3年卒が上級学校への進学条件になった。しかし、当初は大多数が中学卒で社会に出た。たとえば、順天堂の看護婦養成も、入学条件が中学卒である乙種養成所ではじまった。看護婦養成が高等看護学校になったのは昭和36年であった。昭和30年代に入ると、高卒者が急速に増えたのだった。

順天堂大学医学部医史学研究室
特任教授 酒井シヅ

順天堂大学医学部附属順天堂医院
〒113-8431 文京区本郷3-1-3
TEL：03-3813-3111(代表)

編集 病院広報委員会
発行 医療サービス支援センター
地域医療連携室(平成27年7月発行)

ホームページ

<http://www.juntendo.ac.jp/hospital/>

順天堂医院

検索

